

I

出典 松長有慶『密教』

呪術性を多く取り込んでいるために仏教の異端児とみなされがちな密教が、実は仏教の本質と正統性を受け継ぎつつ発展した宗教であることを論じています。仏教の歴史的な展開を丁寧に読み解くことが大切です。

問1【漢字の書き取り問題】(解答番号は①～⑦)

a 痕跡 b 撰取 c 荒唐 d 聴聞 e 浄土 f 起伏 g 思索

荒唐無稽の「荒唐」があまりできていませんでした。聴聞の「聞」を「門」や「問」と書く答案や、「思索」を「試作」と書く答案が目立ちました。

問2【空欄補充 文脈把握に関する問題】(解答番号は⑧・⑨)

西暦紀元の少し前ころから、新しい信仰集団が生まれてきたと述べている文脈の流れから、空欄Ⅰには歴史的な転換を示す語が入ります。仏教を聖と俗とに一方的に割り切って考える思考法を、「そもそも」と根源的に捉え直そうとしている文脈の流れから、空欄Ⅱには「一方的」な判断に対する批判的な語が入ることになります。したがって空欄Ⅰの正解は⑥、空欄Ⅱの正解は⑦です。

問3【空欄補充 文脈把握に関する問題】(解答番号は⑩)

空欄アは、仏教が呪術などの行使を黙認していた事実を受けて、「たてまえ」としての態度や立場を示す言葉が入ることになります。正解は③です。

問4【空欄補充 文脈把握に関する問題】(解答番号は⑪)

空欄イは、民衆が生活の中で信仰していた神々が仏教の中に取り込まれていったという文脈から、日常的な安心感や信頼感を醸成する言葉が入ることになります。正解は⑥です。

問5【空欄補充 文脈把握に関する問題】(解答番号は⑫)

空欄ウは、直前に「民衆を仏教にひきつけるためには」との記述があるので、その目的に沿った表現でなければならないことが理解できるでしょう。正解は④です。

問6【空欄補充 文脈把握に関する問題】(解答番号は⑬)

空欄エは、「また両経には」として前段の内容を受けて展開する文に順接する文の結語を形成するものであることに気づく必要があります。正解は④です。

問7【傍線部の理由 内容理解に関する問題】(解答番号は⑭)

「仏教の本来の姿勢」が何を指しているのかを正しく認識し、さらに、「本来の姿勢に反するのではないかという疑問」を整理した上で、疑問の理由を把握することがポイントです。正解は②です。

問8【傍線部の説明 内容理解に関する問題】（解答番号は15）

「常識的な視点」が何を指しているのかを正しく認識することが先決です。その上で、それとは違った見解とは何かを正しく把握するように努めましょう。正解は⑥です。

問9【傍線部の理由 内容理解に関する問題】（解答番号は16）

傍線部の直前に「バラモン教であれ、民間信仰であれ」との挿入がありますが、傍線部の主語として機能しているのは「仏教教団も信徒も」であることを理解することが肝要です。その構造が理解できれば、「わが身にふりかかる災害を払い、日常生活の安泰を得るためには」が理由を示す記述であることを理解できるはずで、正解は⑥です。

問10【内容を理解して小見出しを選択する問題】（解答番号は17）

仏教は成立の初期段階において、呪術的な要素を一部容認しながら民衆の信仰心を獲得し、西暦紀元の少し前ころから変質することを述べた内容です。話題の中心は仏教成立初期の呪術性にあります。したがって正解は②です。

問11【内容を理解して小見出しを選択する問題】（解答番号は18）

仏像の誕生から初期の密教経典が成立するまでの歴史を簡略に紹介した内容です。結論が文末にある展開を把握できれば、呪法と儀礼が鍵になることは容易に理解できるでしょう。したがって正解は⑥です。

問12【内容合致問題】（解答番号は19・20）

正解は⑥と⑧です。①は「呪術などの行使が悟りへの道にとって有益であり」が誤りです。②は「仏教の教線拡大がバラモン教の復興の原因になる」が誤りです。③は「密教の儀礼や諸尊などにバラモン教やヒンドゥー教との密接な関係を否定する要素が顕著に認められるとする見かた」が誤りです。④は「仏教研究の進展によって、大乘仏教の経典は奇蹟談と無関係に成立したことが判明した」が誤りです。⑤は「仏教教団に加入した比丘たちはヒンドゥーとしての慣習や行動規範を変えずに日常生活をおくっていたと」が誤りです。⑦は「北伝系でも上座部系統の中に呪蔵が別立されているのは、大乘仏教となんらかの関係をもつ」が誤りです。⑨については、「大乘仏教が繁栄した地方から発掘された僧院の構造」と、「中観や唯識などの精緻な理論体系を構築した大乘の学匠たちが密教の修法に励んでいた」ことを結びつける推論は、本文には記されていません。また、この推論は「密教が大乘仏教とまったく別個に、独自の教団を組織していた証拠がみあたらない」ことの原因にはなりません。

II

出典 三中信宏『系統樹思考の世界』

進化生物学者による、「系統」の体系について解説された本です。仮説や理論はデータによる検証を受けて初めて科学として成立するという内容を理解できれば、難しくない問題でした。

問1【漢字の書き取り問題】（解答番号は21～27）

a 途上 b 匹敵 c 勤勉 d 結実 e 衝撃 f 標的 g 適合 がそれぞれ正解です。難解な熟語は文脈から意味を判断して解答を導くことが大切です。

問2【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は28・29）

空欄Ⅰには「連想」が入ります。「物語」という語と「おとぎ話」という語との一般的な関連性を考えることで正解が導けました。空欄Ⅱには「翻訳」が入ります。「人間界あるいは自然界の現象を、民俗的なローカル世界観の中へ位置づける」際に「物語」としていったん表現を置き換えたことを意味します。

問3【空欄補充・前後の文脈から適当なものを選ぶ】（解答番号は30）

空欄アを含む章段（空欄甲の章段）の二段落目「物語が説明であると言う以上、それは現実のデータによってその妥当性がチェックされる必要があります」から正解が導けました。

問4【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は31）

正解は③です。空欄イの後の文章で、レトリックとしての歴史と物語としての歴史とが対比関係にある構造に気づけば、正答が得られました。

問5【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は32）

「物語」が経験的テストの対象であるという考えは本文第一段落に書かれています。また、空欄甲の章段の内容から正答が④であることが導き出せます。

問6【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は33）

空欄甲の章段の冒頭を理解すれば、正答⑤が得られました。

問7【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は34）

傍線部Bを含む章段の内容から②が正答であることが分かります。①、⑤は傍線部Bの直後の内容から誤り。③は「どのような心理によってもたらされたか」が誤り。④、⑥は空欄甲の章段の第二、第三段落の内容から誤りであると判断できます。

問8【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は35）

傍線部Cの後の三段落分で述べられた内容から、正答④が導けました。

問9【内容を理解して小見出しを選択する問題】（解答番号は36）

空欄甲の章段の冒頭に述べられている、筆者の「物語」の定義を理解することで正解が導けました。

問10【内容を理解して小見出しを選択する問題】（解答番号は37）

空欄乙の章段の第二、第三段落の内容から「歴史叙述とレトリック」が主旨であることが分かります。

問11【内容合致問題】（解答番号は **38**）

正解は④です。冒頭の内容から正答が得られます。①は歴史叙述の方法として述べられていないので誤り、②は「冒険談にするため」、③は「現実とは無関係なデータ」、⑤は「民話として創作された」、⑥は「仮説を導き出した過程」、⑦は「空想に満ちた物語」がそれぞれ誤りです。⑧、⑨は本文後半の内容から誤りであることが導き出せます。